

平素より愛知信用金庫に格別のご愛顧ご支援を賜り誠に有難うございます。

本年も、皆様方に当金庫の経営方針や最近の業績、営業内容をより深くご理解していただくため「AISHIN REPORT 2019」を作成いたしましたので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

日本経済は、「いざなぎ景気」を超えて戦後最長の景気拡大となったと言われ、超低金利や円安を背景に輸出関連を中心とした大企業の業績は好調であります。当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者の皆様においては、製造業の一部に設備投資需資が見られるものの力強さを欠いており、個人消費においても停滞感は依然として強く、足元における景気の減速感や国際的な政治経済情勢の不安定化も加わり、先行きの不透明感は漸増しております。



理事長 浦田 卓

金融分野においては、未曾有の緩和政策と金利政策が依然として継続し、地域金融機関の本業利益は減少が続いており、厳しい収益環境は今後も続いて行く見通しであります。

また、当金庫の主要顧客である中小・小規模事業者の皆様においては、個人消費が力強さを欠き、原材料費の上昇等により、引き続き業況の十分な改善には至っておりません。加えて、慢性的な人手不足、経営者の高齢化や後継者難が深刻化しております。

このような状況下、当金庫は、一層の収益力強化を図る施策を行ったほか、お客様の抱える課題と真摯に向き合い、地域の皆様に対する金融仲介機能の更なる発揮に努めてまいりました。

このような取組みを一層進展させるため、本年度に取り組むべき主要施策は、①「持続可能なビジネスモデル確立のための本業利益確保の取り組み」、②「リスク管理の強化とコンプライアンス教育の強化」、③「店舗戦略の明確化に基づいた人材の適正配置と管理指導者の能力向上」とし、新しい中期経営計画の下、全役職員が当金庫の置かれている状況を冷静に見つめ、計画達成を完遂する決意を持って各種施策に取り組んでいくとともに、創業支援や本業支援、金融サービスの向上を通じて、地域の皆様との絆を更に強く結び、時代と社会の難局をともに乗り越えていく所存であります。

皆様方の暖かいご支援に支えられ、当金庫は地元根ざした地域金融機関として引き続き健全経営に徹し、信頼される信用金庫として強靱な経営体質の確立に努力してまいります。

今後とも一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。